

佐賀県は、2つの海に面しています。北には対馬海流が流れ込む「玄界灘」、南には佐賀県など4県に囲まれた内海「有明海」があり、それぞれ異なる性質を持っています。

□景勝地が多い「玄界灘」

リアス海岸と砂浜海岸が続き、仮屋湾などの内湾や入り江が発達しています。景勝地が多く、沿岸の島々を含めた周辺海域は玄海国定公園に指定されています。



(佐賀県観光連盟 提供)

なな がま 七ツ釜 (国天然記念物)

玄界灘の荒波の侵食作用を受けてできた7つの海食洞※1や海食崖※2、海食台※3が見られます。

- ※1 波の侵食作用によって海食崖にできた洞窟のこと。【A】
- ※2 波の侵食作用でできた斜面の急な崖のこと。【B】
- ※3 海食崖の下の方にできる緩やかな斜面のこと。【C】



ちゅうじょうせつり
柱状節理

200万～300万年前、マグマが地上で急激に冷えて、六角形の柱状の割れ目(柱状節理)ができました。



(佐賀県観光連盟 提供)

はくしやせいしやう 白砂青松の虹の松原

脊振山地の花崗岩が風化した砂が、川に運ばれて堆積した白い砂浜。長さ約4km、幅約500mにわたりクロマツが群生する海岸の風景は、国の特別名勝に指定されています。



□栄養分が豊富な「有明海」

波静かな内海の有明海には多くの河川が流れ込んでいます。野や山に染み込んだ雨水は、有機物や栄養塩などを取り込んで有明海に流れ込むため栄養分が豊富です。ノリの養殖が盛んで多様な生き物がいます。



(有明海漁業協同組合 提供)



(佐賀県観光連盟 提供)

日本一の干満の差

約6mの日本一の干満の差がある有明海。潮が引くと海岸線から約7km沖まで干潟が広がります。



東よか干潟 (佐賀市環境部環境政策課 提供)

ラムサール条約登録湿地

クロツラヘラサギなど絶滅が危惧される渡り鳥の越冬地や中継地になっている有明海の干潟。「東よか干潟」と「肥前鹿島干潟」はラムサール条約に登録されています。

【2つの海の違い】

| | 玄界灘 | 有明海 |
|---------------|---------------------|---------------------|
| 面している市町 | 7つの島を含む唐津市、玄海町、伊万里市 | 佐賀市、小城市、鹿島市、白石町、太良町 |
| 海岸線 | リアス海岸 | 干拓により直線化した海岸線が多い |
| 海岸線総延長(佐賀県部分) | 約260km | 約97km |
| 干満の差 | 約2m | 約6m |

調べてみよう!

玄界灘と有明海では、どんな魚介類がとれるかな?



見どころスポット

干潟よか公園

住所：佐賀市東与賀町下古賀 2885-2

東よか干潟ガイダンスルーム

(干潟よか公園の紅葉庵内)

電話：0952-40-7202 (佐賀市環境部環境政策課)

開館時間：9時～16時

休館：毎週月曜日(祝日の場合、翌日)、

12月29日～1月3日

料金：無料

